

ここからはじまる希望 ～サポートのカタチ～

活動のはじまりは、それぞれの理由がありました。活動内容も全く異なりますが、「人と人とのつながり」を大切にしながら、それぞれのカタチでサポートをされている3人は、とても輝いています。

事故の被害者となつて

2000年7月、当時4歳の娘を飲酒運転の自動車事故で亡くしました。当時、交通事故の被害者や遺族に対する相談窓口が山口県内にはなく、事故被害者遺族らが立ち上げた「全国交通事故遺族の会」に参加するため、東京に何度も行ききました。そこで、私と同じような思いをしている人たちと出会ったことが、私の大きな支えとなりました。

また、被害者支援の活動に関わり、支援を必要としているのは犯罪被害者だけではなく、家族を病気で亡くされた人、自死による死別で悲しみにくれる人、事故の後遺症で苦しんでいる人など、多くの人が悩みを持っていることが分かりました。そこで、仲間と一緒に自助グループを立ち上げることにしました。それが、現在の「グリーフサポートやまぐち」の活動の前身となっています。

グリーフとは、喪失体験から生まれる悲しさ、苦しき、怒り、

case 1



恩返し
あの時の支えで
今がある

グリーフサポートやまぐち
代表

やま ね かず こ
山根 和子さん

事件や事故、病気などで家族や親しい人を亡くした人たちの悲しみに寄り添う支援をしています。